

登録コード	SGQ24900	開講年度	2026				
授業題目	教職実践演習（中・高）					担当教員	田村 徳至
英文授業名	Practical Seminar for Teaching Profession					副担当	
単位数	2	講義期間	通年	曜日・時限	集中・不定期	対象学年	4年
講義室	理学部第2講義室 理学部第3講義室 理学部第4講義室 理学部第5講義室 理学部第7講義室			授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】	
(2)授業で学べる「テーマ」	その他						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	各自の教職課程に関する1年次からの履修記録(ポートフォリオ)をもとに、「教師としての使命感・責任感・教育的愛情に関する事項」「教師に求められる社会性・対人関係能力に関する事項」「子ども理解に関する事項」「教科内容等の指導力に関する事項」の4項目についての達成状況を確認し、教職課程の最終段階での各自の課題と目標を設定する。 設定した目標に到達するための手段として、授業参観・模擬授業・フィールドワーク・教材開発等の教育臨床的内容を含む課題解決型の学習を各自が設定し、演習形式で教員として必要な知識技能を修得することを目指す。						
(5)授業のキーワード	授業実践 教材開発 子ども理解 授業分析 学級経営 教科運営						
(6)授業計画	授業計画 第1回 ガイダンス…「教員として必要な知識技能」の確認と各自の課題の明確化 他 第2回 授業参観と授業分析 第3回 授業参観と授業分析 第4回 授業参観と授業分析 第5回 授業分析の成果発表 第6回 生徒指導と学級経営 第7回 教材開発と指導案作成 第8回 教材開発と指導案作成 第9回 模擬授業と授業分析 第10回 模擬授業と授業分析 第11回 模擬授業と授業分析 第12回 模擬授業と授業分析 第13回 教科指導と教科運営 第14回 学校運営とマネジメント能力 第15回 成果発表・授業アンケート						
(7)成績評価の方法	臨床学習における取り組み（5割）・教材開発授業分析等のレポート（5割）						
(8)成績評価の基準	【卓越している】教育実習時の自身の成果と課題を十二分に生かし、ねらいに即した授業設計かつ授業分析を行い授業の特性を見出すことができる。 【かなり上にある】教育実習時の自身の成果と課題を生かし、ねらいに即した授業設計かつ授業分析を行い授業の特性を見出すことができる。 【やや上にある】教育実習時の自身の成果と課題を生かし、ねらいに即した授業設計かつ授業分析を行い授業を行うことができる。 【水準にある】教育実習時の自身の課題を基に、授業設計かつ授業分析を行い授業を行うことができる。						
(9)事前事後学習の内容	各自、授業を参観し、記録を基に授業を分析する。 教育実習で行った授業を再検討し、教材研究並びに指導計画を立てなおす。						
(10)履修上の注意	教員免許取得のための必修科目である。 ・7月下旬に授業参観のグループ分けを行う（事前指導）。期日については、現時点では未定であるので、決まり次第eAlpsにて連絡する。必ず参加すること。 ・8月～11月の所定の日に松本市内の小中学校でグループに分かれて、授業参観を行う。授業参観の時間帯は現段階では未定。決定次第、eAlpsを通じて連絡する。 ＊自分の専門教科の授業参観とは限らない。 ・11月～12月（具体的な日程は未定）には、松本市教育委員会との連携事業の一環として、指導主事の先生による講義あり。						
(11)質問、相談への対応	随時。 メール: tamura@shinshu-u.ac.jp						
【教科書】	免許取得予定教科の中学校学習指導要領解説・高等学校学習指導要領解説 藤井善章／小山茂喜 編著『教育実習・介護等体験 安心ハンドブック』,学事出版,2026,2,000円＋税 ・旧版のものでも可						
【参考書】	参考資料等 適宜紹介する。						